



佐藤照彦議員

水産行政

高品質カキの出荷基準づくり

品質に関するデータベースを作成

に全力での取り組みを。

① 質問

①町は底曳き網が海底や生物資源に与える影響の調査を水産技術センターに要望しているが、調査は行われているか。水産庁によるキチジに関する調査結果はどうであったか。

②高品質カキの生産と出荷基準づくりは実現可能か。

③漁業後継者を育てること

沼崎町長

①県は、底魚類資源の評価と管理に関する研究を継続し、漁業調査のための基礎資料として、結果を県漁連に提供している。

キチジに関する調査については、資源は低位にあるが増加傾向とされ、角目網の調査では、内径



カキ水揚げ作業の様子（織笠の養殖漁家）

町の考えを聞く

水産振興

夢も希望もある漁業計画を

地域営漁計画の策定を支援

②水産技術センターの協力
六十三センチで体長十センチ以下のキチジの六五割を逃がせるとの結果を得ている。

③国内研修を希望する後継者に、旅費の一部を助成する制度を整備した。

質問

①県北・沿岸振興に関し、どんな要望と提案をしたか。

②夢も希望もある山田の漁業の長期ビジョンを策定すべきでないか。

沼崎町長

①二回に及ぶ知事との意見交換では、▽大沢漁協の水産系廃棄物処理施設建設に対する支援▽日本原燃再処理工場のアクティブ試験開始に伴う対策▽山田湾産カキの品質管理

と養殖量適正化に対する支援▽秋サケの魚価回復のための輸出促進——を要望した。

②県は本年三月に漁業担い手育成ビジョンを策定し、地域の将来像を示した地域営漁計画を漁協が策定することを目標に掲げた。山田地区の計画策定は平成十九年度の予定である。町は、県と連携して漁協の計画策定を支援することは困難である。